

## 所管事務調査報告書

令和4年1月17日

洞爺湖町議会議長 大西 智 様

総務常任委員会  
委員長 下道 英明

本委員会は、所管事務調査のため、次のとおり委員会を開催したので、その結果を報告します。

### 記

#### ○所管事務調査その1

- 1 調査事項 小学校・中学校の現況について
- 2 調査日 令和3年12月20日(月)・21日(火)
- 3 出席委員 下道委員長、今野副委員長、越前谷委員、大久保委員、五十嵐委員
- 4 説明員等 教育委員会 皆見教育長、管理課 天野課長、尾崎主幹  
虻田小学校 小野島校長、菅野教頭  
虻田中学校 瀧澤校長、菅田教頭  
洞爺湖温泉小学校 柿崎校長、市嶋教頭  
とうや小学校 山下校長、鹿野教頭  
洞爺中学校 菅林校長、佐藤教頭
- 5 調査内容  
町内の小中学校を訪問させていただき、授業の様子などを見学するとともに、次の3項目について調査を行いました。
  - ① 不登校児童・生徒の状況は。
  - ② いじめ防止対策、いじめの発見、からかいや冗談といじめの捉え方は。
  - ③ ヤングケアラーについて、子どもたちはどのように認識しているのか。また、このことで悩んでいる子どもはいないのか。
- 6 調査結果
  - ① 小学校においては、不登校に該当する事案は無い状況となっている。情報を教師全員で共有するなどし、事前の取り組みに力をいれている。  
中学校においては、不登校となっている生徒はいるが、スクールカウンセラーなどの力を借りながら改善に向けた取り組みを実施しており、減少

傾向にある。

- ② 現在、いじめは学校の中だけで発生するものではなく、スマホなどを使って情報発信される SNS によるものもある。いじめは絶対に発生しないと考えるおらず、子どもたちの生の声を聴いたり、その場で即対応するなど早期に解決するよう取り組んでいる。子どもの受け止め方で差異はあるが、嫌な思いをしたということはいじめと捉え対処している。

子どもたち自身が気をつけることや、教職員による組織的な取り組みの強化などにより、いじめに繋がるような事案の発生は少ない状況となっている。

- ③ 該当する家庭や子どもはいないことから、特に指導していることは無いとのことであった。生徒・児童の少ない学校においては、子どもと教師の関係が非常に良く身近な指導が可能となっており、子どもたちの発信には常にアンテナを張っているとのことである。

各学校では、新型コロナウイルス感染症対策として、玄関や廊下には児童・生徒が作成した感染防止のための掲示物が貼られるなど、しっかりと対策に取り組んでいることが確認できた。また、教育活動の一環で、ふるさと教育をキーワードとした心の教育に取り組んでいる学校があり、自分たちが住み生活している町での宿泊研修を行ったり、タブレットを使用した学習に積極的に取り組んでいる。

町内小中学校においては、防犯対策として、校内へ侵入した不審者に対応するため「さすまた」を用意しているが、設置本数及び設置箇所が定まっていない状況となっており、緊急時において適切に使用できるよう整備することが必要である。